

第2回新型コロナに係る学生への食料支援事業について（報告）

1. 目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響で実家からの仕送り、アルバイトの激減等により困窮する学生の食料を支援するため、教職員を始め、近隣の企業等から食料品の提供を受け、学生に食料支援を行う。

なお、今回の事業は、前回の事業において、食料を十分に受け取れなかった学生への支援及び授業等の都合により食料を受け取れなかった学生への支援を補完するものである。

2. 経緯

- 1月22日：第1回の学生に対する食料支援を実施
（約4,000人が並び、約3,000人に配付）
- 2月1日：学内で食料支援を決定
- 2月4日：教職員、近隣企業、卒業生等へ広報開始
- 2月8日～16日：食料支援の受入れ

3. 受入れ食品

- ・米6t：2kgで3,000人分
- ・カップラーメン：6,000個
- ・レトルトカレー：2,500個
- ・パスタ300食
- ・缶詰：1,500個
- ・サツマイモ：500kg
- ・チョコレート7,000個
- その他：お菓子、飲料等多数

4. 配付日時・場所

2月17日、18日 10時～17時 平砂学生宿舍共用棟（食堂）

5. 配付数

約1,700人

6. 感染対策（学生と配付に関係する教職員等）

- ・事前登録制として配付時間を設定、検温、消毒等
- ・感染拡大防止システム「いばらきアマビエちゃん」、厚生労働省接触確認アプリ（COCOA）を登録

7. 担当部局

学生部、事業開発推進室が各部局、T-PIRC、学生ボランティア等の協力を得て実施



